

新日本プロレスリング闘魂烈伝（ワンダースワン版）

【しんにほんぷろれすりんぐとうこんれつでん】

| | |
|------|-----------|
| ジャンル | 格闘アクション |
| 対応機種 | ワンダースワン |
| 発売元 | トミー |
| 発売日 | 1999年3月4日 |
| 分類 | 劣化移植判定 |

- ▶ そもそも「闘魂烈伝」とはプレステ初期の3Dポリゴン式プロレスゲームの金字塔であり、3すくみを導入するなどの画期的なシステムがユーザーに支持された作品。開発のユークスはこのノウハウを生かし、後にエキサイティングプロレス（発売：THQ）やランブルローズ（発売：コナミ）、レスルキングダムを開発する。
- ▶ ではそのワンダースワン版はというと。
 - ▶ 使用できる選手は蝶野正洋、武藤敬司、橋本真也（故人）、佐々木健介、獣神サンダーライガー、天山広吉だけ。
 - ▶ タダでさえ数が少ない上にこの内2/3（蝶野、武藤、橋本、健介）が後に新日を去ったというオマケつき。
 - ▶ 闘魂烈伝の特徴である3すくみはどこかへ消えてしまったらしく、ファミコンのプロレスみたいな本当にシンプルなゲームに劣化。
 - ▶ モノクロのグラフィックもまるで初期のゲームボーイのような有様。
 - ▶ 何より選手の特徴を捉えていないのか、蝶野が必殺技にスモールパッケージホールドを使う。実際、使ったことはもしかしたらあるかもしれないけれどまず「蝶野=スモール」なんて印象は無い。
- ▶ と言うかこのゲーム、ユークスは関知していない、恐らく販売元のトミー（当時）が名義だけ使って別の会社に委託したと思われる。